

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●コントレイルがジャパンカップ勝利で有終の美を飾る

11月28日(日)に行われたジャパンカップ(G I)では、このレースを最後に引退するコントレイル(牡4歳/栗東・矢作芳人厩舎)が優勝、5つ目のG Iタイトルを獲得して有終の美を飾りました。また、これでディーブインパクト産駒は2012年・2013年連覇のジェンティルドンナ、2015年のショウナンパンドラに続いてジャパンカップ4勝目。これは3勝のサンデーサイレンス産駒を抜いて単独の最多勝記録となります。

### ●2歳・芝2000mの中央競馬レコードタイム更新

11月28日(日)の5回東京8日・第4レースでは、ウィズグレイス(牝/美浦・国枝栄厩舎)が1分58秒5のタイムで優勝しました。これは2019年の葉牡丹賞でグランデマーレが記録した1分58秒9を更新する、2歳・芝2000mの中央競馬レコードタイムとなります。

### ●重賞ウィナー3頭の競走馬登録抹消

2020年サマーチャンピオン(佐賀・JpnⅢ)の勝ち馬サヴィ(牡7歳/栗東・中内田充正厩舎/JRA通算22戦6勝・地方2戦1勝)、2019年シリウスS(GⅢ)などの勝ち馬ロードゴラツ(牡6歳/栗東・藤岡健一厩舎/JRA通算21戦5勝・地方9戦1勝)、2019年東京中日スポーツ杯武蔵野S(GⅢ)の勝ち馬ワンダーリーデル(牡8歳/栗東・安田翔伍厩舎/JRA通算36戦7勝・地方2戦0勝)は、11月17日(水)までに競走馬登録を抹消されました。サヴィは地方・大井競馬、ロードゴラツも地方競馬(所属未定)に移籍し、ワンダーリーデルは滋賀県甲賀市の吉澤ステーブルで乗馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●クイーン賞(船橋)はJRA出身のダイアナブライト(川崎)

クイーン賞(JpnⅢ、12月1日、船橋、1800m)は、これがJRAから川崎への移籍緒戦だった6番人気のダイアナブライト(笹川翼騎手=大井、牝5歳、父ディーブインパクト)が、6番手追走からゴール寸前で逃げ粘る1番人気のサルサディオオーネ(大井)を差し切りました。3番人気のプリティーチャンスが3着に入り、2番人気のリネンファッションは8着、ウェルドーンは10着、エリザベスタワーは13着に敗れています。

### ●鮫島克也(佐賀)、別府真衣(高知)、岩永千明(佐賀)騎手が引退

佐賀競馬史上最多となる地方競馬通算5,054勝(他にJRAで30勝)を記録した鮫島克也騎手(58歳、佐賀)、国内女性騎手では史上2位の地方競馬通算747勝(他に韓国で13勝)という成績を取めた別府真衣騎手(33歳、高知)は調教師試験に合格したため、国内女性騎手4位の地方競馬通算420勝をあげた岩永千明騎手(39歳、佐賀)は本人の申し出により、11月30日付で騎手を引退しました。

### ●平和賞(船橋)は浦和のライアン【各地の主要2歳重賞】

平和賞(10月27日、船橋、1600m)は、5番手から差を詰めた6番人気のライアン(牡、父ディーブインパクト)が、直線で外によれながら差し切って重賞初制覇。ブロッサムC(10月21日、門別、1700m、牝馬)は、6番手から追い上げたコスモボラリタ(父ローズインメイ)が直線の競り合いをアタマ差制し、単勝1.4倍の支持に比べてフローラルCに続く重賞2連勝を果たしています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1クラークS~マックスフィールドが有終の美

11月26日に米国ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場で行われたG1クラークS(3歳上、ダート1800m)はJ.オルティス騎手を背に2番手で流れに乗ったマックスフィールド(牡4歳、父ストリートセンス、B.ウォルシュ厩舎)が逃げた今年のG1ブリークネスS2着馬ミッドナイトバーボンを直線半ばで交わして先頭に立つと、最後は昨年のG1ジョッキークラブゴールドCの勝ち馬ハッピーセイバーの追い上げを半馬身退けて優勝しました。マックスフィールドは2歳時のブリーダーズフューチャリティ(ダート1700m)以来となるG1・2勝目。これを最後に引退し、来春からケンタッキー州のジョナベルファーム(ダーレー)で種牡馬入りします。

### ●G1ハリウッドダービー~ビヨンドブリリアントが逃げ切る

米国カリフォルニア州のデルマー競馬場で11月27日に行われた、G1ハリウッドダービー(3歳、芝1800m)はK.デザーモ騎手が手綱を取ったビヨンドブリリアント(牡3歳、父トワーリングキャンディ、J.シレフス厩舎)がクビ差で逃げ切り、重賞初制覇をG1で飾りました。なお、51歳の鞍上デザーモ騎手はこの前日にもデルマー競馬場のG2ハリウッドターフC(芝2400m)をセイザワードで制しており、連日の重賞制覇となりました。